

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年7月30日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都大田区大森北一丁目22番1号

氏名 株式会社 大庄
代表取締役 平 了寿

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社 大庄 代表取締役 平 了寿				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都大田区大森北一丁目22番1号				
主たる事業の業種	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業			
	中分類	76 飲食店			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	1,319	kl	自動車の台数	台

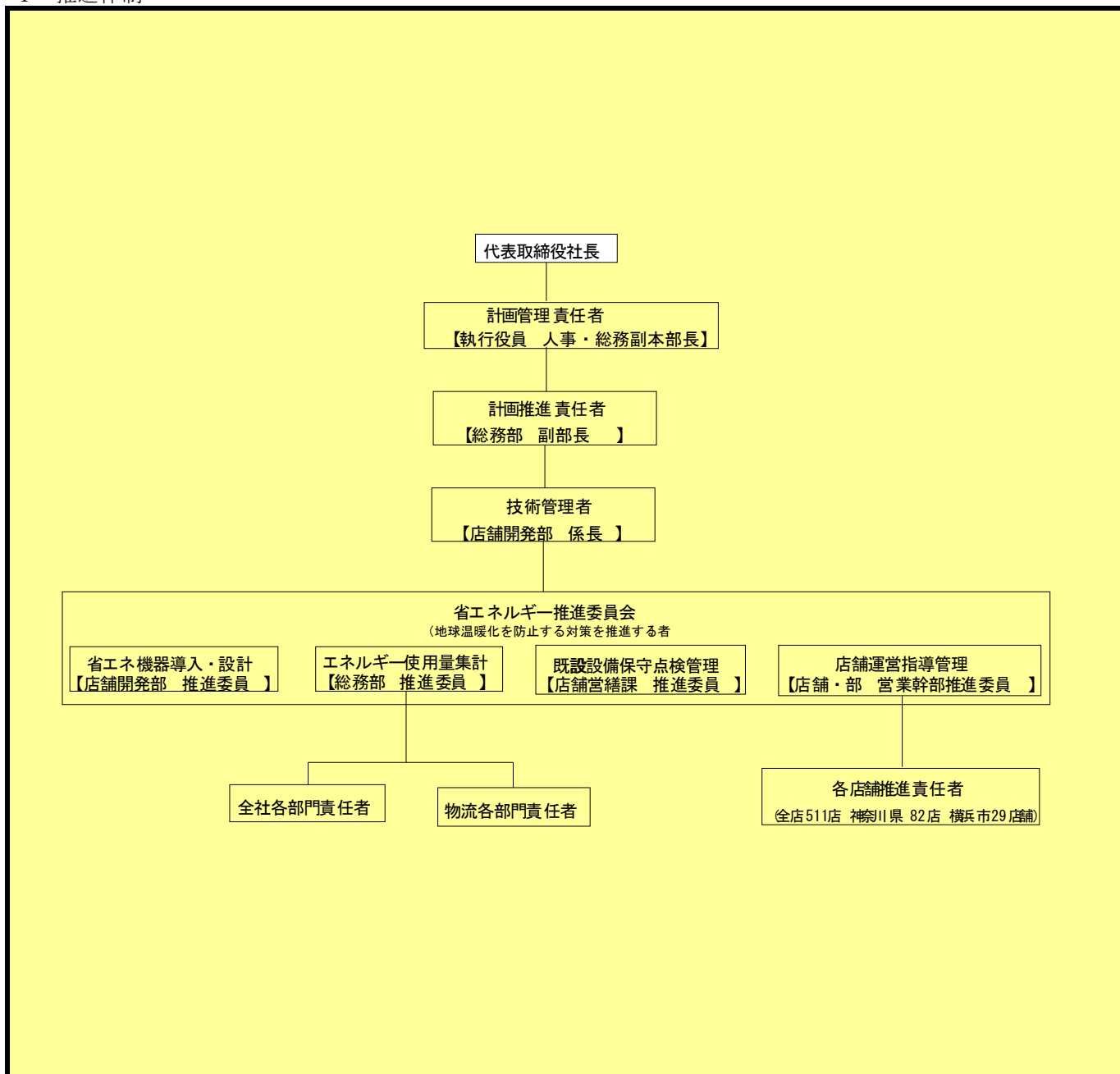
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針]</p> <p>○弊社では、平成22年度の「省エネルギー法」改正により、施設全体のエネルギー使用量の集計と省エネ化に取り組んでおり、店舗・事務所全体でのエネルギーを年間1%削減目標とし、運営しております。</p> <p>○この削減目標を達成するために、運用の改善と省エネ機器導入などを行いCO₂削減を図って参ります。</p> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討]</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備</p> <p>1) 店舗看板の照明機器を省エネタイプ（モノキューブT5管）とする。</p> <p>②上記①の設備を選択した理由</p> <p>1) エネルギー使用量が蛍光灯より低いことと電球寿命が長いので選定致しました。</p> <p>③設備更新スケジュール</p> <p>1) 横浜市内の店舗を中心に随時行っていく予定です。</p>
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	株式会社 大庄 総務部 (受付5階)
	所在地	東京都大田区大森北一丁目1番10号 大森シティビル
	閲覧可能時間	10:00~15:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	3,713	t-CO ₂			基準原単位	0.09	t-CO ₂ /千㎡・h
	調整後	3,686	t-CO ₂			目標原単位	0.09	t-CO ₂ /千㎡・h
目標年度 (2018年度)	目標排出量	3,601	t-CO ₂	削減率	3.0%	削減率	3.0%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	○弊社では、地球温暖化対策として神奈川県内事業所（店舗）の温室効果ガス排出状況管理体制整備と温室効果ガス削減推進体制を整備し、事業所全体での温室効果ガス排出量を年間1%削減目標として参ります。事業所での電気・ガス使用機器の運用改善について議論を交わし、省エネ運営を行い削減を図って参ります。							
事業者全体としての目標等	○横浜市内だけでなく、全国の事業所においても温室効果ガス排出量を年間1%削減目標として参ります。							
第一年度 (2016年度)	排出量	3,855	t-CO ₂	削減率	▲3.8%	排出原単位	0.07	t-CO ₂ /千㎡・h
	調整後	3,771	t-CO ₂	削減率	▲2.3%		削減率	26.5%
目標等の達成状況及び説明	平成28年度より1事業所が新たに加わったため、温室効果ガスの排出量全体は増加となった。しかし、基準原単位にて比較すると削減されているため、全体的には省エネルギー対策の効果が出ていると考えられる。主な省エネルギー活動は以下の通りです。 1) 店舗入口看板の照明機器を省エネタイプ（モノキュートT5管）を1店舗導入した。 2) 省エネ意識の高揚を現場へ指導し、実行を図る 3) 老朽化した厨房機器やエアコンは、省エネルギーが見込める製品を進んで選定し入替した。							
第二年度 (2017年度)	排出量	3,425	t-CO ₂	削減率	7.8%	排出原単位	0.07	t-CO ₂ /千㎡・h
	調整後	3,280	t-CO ₂	削減率	11.0%		削減率	25.1%
目標等の達成状況及び説明	平成29年度に比べ1事業所が減り、温室効果ガスの排出量全体は減少となった。しかし、基準原単位にて比較すると若干ではあるが増加しているため、各事業所でのエネルギー使用が増えたと考えられ、省エネルギーの効果が表れなかった。ただし基準年度との比較では大幅に削減できている。 主な省エネルギー活動 1) 店舗入口看板の照明機器を省エネタイプ（モノキュートT5管）を1店舗導入した。 2) 老朽化した厨房機器やエアコンは、省エネルギーが見込める製品を進んで選定し入替した。							
第三年度 (2018年度)	排出量	2,562	t-CO ₂	削減率	31.0%	排出原単位	0.07	t-CO ₂ /千㎡・h
	調整後	2,416	t-CO ₂	削減率	34.5%		削減率	24.6%
目標等の達成状況及び説明	事業所が減り、温室効果ガスの排出量は大幅減少となった。しかし、基準原単位にて比較すると若干ではあるが増加しているため、各事業所でのエネルギー使用が増えたと考えられ、省エネルギーの効果が表れなかった。猛暑であった夏期の電気使用量が影響したと考えられる。 主な省エネルギー活動 1) 店舗入口看板の照明機器を省エネタイプ（モノキュートT5管）を1店舗導入した。 2) 老朽化した厨房機器やエアコンは、省エネルギーが見込める製品を進んで選定し入替した。							
計画期間全体の排出状況に関する説明	基準年度に比べ事業所が約1/3閉鎖した影響もあり、温室効果ガスの排出量は大幅減少となった。基準原単位による比較においても、大きく減少している。老朽化している照明器具や厨房機器、エアコンを省エネルギータイプへ入れ替えた影響があるものと考えられる。							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満	30	3,713	30	3,855	29	3,425	21	2,562
合計	30	3,713	30	3,855	29	3,425	21	2,562

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度											
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況				
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	1/30	—	年度	組織変更により整備を行っており完了していません。	横浜市内店舗各々での管理体制を整える準備中です。	実施中	1/29	—	年度	組織変更により整備を行っており完了していません。	横浜市内店舗各々での管理体制を整える準備中です。	実施中	1/21	—	年度	組織変更により整備を行っており完了していません。			
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	13/30	—	年度	現時点で設備更新を行っておりませんが、全店舗までの完了までにはなっていません。	冷蔵庫やエアコンなど現行モデルに新規入替(弊社内で見直しを行い事業所数の検証をしております)	実施中	19/29	—	年度	現時点で設備更新を行っておりますが、全店舗までの完了までにはなっていません。	冷蔵庫やエアコンなど現行モデルに新規入替	実施中	19/21	—	年度	現時点で設備更新を行っておりますが、全店舗までの完了までにはなっていません。			
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	未実施	0/30	—	年度	整備したいと考えているが、設備された機器等の更新計画はなく、設備数が多いため、本年度中に整備できない。	今後機器管理台帳の整備・作成を進める準備を致します(弊社内で見直しを行い事業所数の検証をしております)	未実施	0/29	—	年度	整備したいと考えているが、設備された機器等の更新計画はなく、設備数が多いため、本年度中に整備できない。	今後機器管理台帳の整備・作成を進める準備を致します	未実施	0/21	—	年度	整備したいと考えているが、設備された機器等の更新計画はなく、設備数が多いため、本年度中に整備できない。			
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	未実施	0/30	—	年度	各事業所での運用管理整備を行っておりますが、店舗毎に異なる設備の必要になり完了までにはなっていません。	各事業所に設置したLED照明器具の導入を進め、今後より環境負荷の少ない照明器具の導入を計画しております(弊社内で見直しを行い事業所数の検証をしております)	未実施	0/29	—	年度	各事業所での運用管理整備を行っておりますが、店舗毎に異なる設備の必要になり完了までにはなっていません。	非常業時間に関してはこまめに照明を消すなど指導する体制を整えたい	未実施	0/21	—	年度	各事業所での運用管理整備を行っておりますが、店舗毎に異なる設備の必要になり完了までにはなっていません。			
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし	非該当	/	—	年度	個別票対象事業所なし
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	未実施	0/30	—	年度	各事業所での運用管理整備を行っておりますが、店舗毎に異なる設備の必要になり完了までにはなっていません。	温度管理は店舗の敷量に任せていた。今後本社より温度設定の告知を準備したい	未実施	0/29	—	年度	各事業所での運用管理整備を行っておりますが、店舗毎に異なる設備の必要になり完了までにはなっていません。	温度管理は店舗の敷量に任せていた。今後本社より温度設定の告知を準備したい	未実施	0/21	—	年度	各事業所での運用管理整備を行っておりますが、店舗毎に異なる設備の必要になり完了までにはなっていません。			
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	1/30	—	年度	現時点で設備更新を行っておりますが、全店舗までの完了までにはなっていません。	住宅用LED照明器具にて、電球電球を省エネタイプへ切り替え(弊社内で見直しを行い事業所数の検証をしております)	実施中	2/29	—	年度	現時点で設備更新を行っておりますが、全店舗までの完了までにはなっていません。	住宅用LED照明器具にて、省エネタイプへ切り替え	実施中	2/21	—	年度	現時点で設備更新を行っておりますが、全店舗までの完了までにはなっていません。			
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし
	15	機器性能管理	設備	非該当	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし	非該当	/	—	年度	対象設備なし

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度										
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度	
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度	
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度	
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度	
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度	

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		0.05 %		2,562		3.5		2.2		1					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	外看板使用電球の省エネ化（モノキュートT5管）	庄や戸塚西口店	2016	FL普通蛍光灯使用	昼間買電	2,190	kWh	1.1	モノキュートT5管使用	昼間買電	1,358	kWh	0.7	0.4	162 千円
2	外看板使用電球の省エネ化（モノキュートT5管）	庄や上大岡店	2017	FL普通蛍光灯使用	昼間買電	4,738	kWh	2.4	モノキュートT5管使用	昼間買電	2,902	kWh	1.5	0.9	302 千円
															千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	LED	2012年度	18W直管型ランプ	約53%の電力量削減
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	146	東京電力エナジーパートナー(株)エネット
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	
第一年度実績	特になし
第二年度実績	特になし
第三年度実績	特になし

14 実施状況等に対する自己評価

各店舗にて省エネに対する意識を持ち運営していきたい。
